

築く KIZUKU

広報誌



一年間ありがとうございました

12 2016 December
No. 630

2016年度スローガン

「今」を駆け抜けよう!
～燦然と輝く笑顔溢れる未来を目指して～



1年間を振り返り

水沢青年会議所 理事長

浅間 光 将

まずは2016年度（公社）水沢青年会議所の活動を振り返るにあたり、奥州市をはじめとします多くの関係者の皆様、そして各事業へご参加くださいました多くの市民の皆様へこの場をお借りしまして心より御礼を申し上げます。また、平素より（公社）水沢青年会議所の運動に対しまして、多大なるご理解ご協力を賜りましたことに感謝申し上げます。

青年会議所は20歳から40歳までという社会的にも責任と自覚を求められる世代が、個人の修練・社会への奉仕・世界との友情という三信条のもと「明るい豊かな社会の実現」を目指し、全国各地で運動を展開しております。また、一年間の任期の中で多くの会員が様々な役職に就くことで多くの実践経験を積み重ね、その成果を個々の成長や会社・地域活動へ反映させる事ができます。それは水沢青年会議所としても例外ではなく、奥州地域の更なる活性化を目指し運動を展開してきました。

そして本年度は『「今」を駆け抜けよう！～燦然と輝く笑顔溢れる明るい未来を目指して』をスローガンに掲げ、子供たちの健全なる成長を願う青少年育成事業・私たちが住みくらす地域の活性化を望む社会開発事業を基軸とし活動してきました。青少年育成事業を担当するひとづくり委員会では、5月事業『奥州インディアン旗野球教室』、7月事業『サマーチャレンジ奥州の細道2016』、10月事業『第59回インディアン旗野球大会』を開催しました。5月事業の野球教室では元読売巨人軍の宮本和知氏をお招きし、奥州市内約100名の子供たちを対象に、改めて「野球」というスポーツに触れ合い、魅力や楽しさを体感していただきました。そして7月事業のサマーチャレンジは、三泊四日で奥州市内60kmを歩くという修練の事業です。一日約15kmの道程は子供たちにとって未知の経験でありましたが、一歩、また一歩と歩き続け、全員が諦めることなく完歩できました。また道中は水沢競馬場、牛の博物館、衣川自然塾と普段は見ることのない郷土

の一面に触れ、体験することで地域への理解・関心を深めていただきました。

もう一つの社会開発事業を担当するまちづくり委員会では、6月事業として『奥州まちづくり実行委員会』を立ち上げ、郷土を学び、郷土の素晴らしさを理解する機会を創出しております。この奥州まちづくり実行委員会には青年会議所メンバーだけでなく、公募で募られた市民15名の方々にも参画していただきました。そしてその成果となる事業が9月事業『奥州郷土愛プロジェクト～「奥州郷土食フェスタ」』であります。「奥州YOSAKOI inみずさわ」と同日に開催されたこの事業は多くの市民の方々にご来場いただき、そして実行委員会でも郷土食をテーマに「ケの食・ハレ食・間食」を提供させていただきました。この地域に根差してきた食文化を知っていただくことにより、この地域の魅力を再認識できたのではないかと思います。この地域に住み暮らす私たちがだからこそ、このまちへ誇りと愛着を持ち、更なる活性化を目指し活動しています。他には11月事業として奥州市ILC推進室様並びに（公社）江刺青年会議所様の御協力を得て「ILCと歩む奥州市のこれからの未来について」のセミナーを開催しております。

10年後にこの地域がより活性化するように、そして10年後のこの地域を担う子供たちが健やかに成長できるように、この一年間活動して参りました。「まちづくり」と「ひとづくり」を二本柱とし、笑顔溢れる未来を目指して事業を展開できたことは、これまで携わっていただいた方々の御協力があればこそだと感じております。今後も人と人、地域と地域の繋がりを大切にし、愛する奥州地域の為に活動して参ります。この一年間関わっていただいた全ての皆様へ感謝するとともに、次年度も今年度と変わらぬご理解と御協力をお願い申し上げます。御礼の挨拶と代えさせていただきます。本当にありがとうございました。

Flower Road フラワーロード



11月5日（土）、今年最後の水沢フラワーロード全体作業が行われ、寒い早朝での作業でしたが、多くの市民の皆様そして当青年会議所会員メンバーが参加しました。主な作業は花殻抜き取り及びマルチ材撤去で、1時間かからずに作業完了となりました。来年も美しい花道となるよう期待しています。

総務広報委員会 委員長 岩淵真幸人(医療法人清和会)



セミナー「ILCと歩む奥州市のこれからについて」

11月11日（金）に11月例会並びにセミナー「ILCと歩む奥州市のこれからについて」が開催されました。今回ILC誘致に対する機運を高める為に、会員それぞれがILC事業に積極的に関わり、未来のまちづくりを真剣に考えて欲しいという思いより、この事業を企画させて頂きました。第1部で奥州市ILC推進室の朝日田様に御講演を頂き、第2部で講演を受けて青年会議所として今後何が出来るかグループディスカッションを行い、第3部でディスカッション内容を発表するというスケジュールでした。スケジュールに余裕が無く、会員に負担を強いたり、会場管理者にもっと早く終わらせて欲しいというお叱りを受けたりした場面もありましたが、限られた時間の中でILC推進室の方の助言を頂きながら、オブザーブ参加して頂いた江刺青年会議所メンバーと共に、一生懸命会員各々が今後のILC事業について考え議論し、発表している姿が印象的で、この事業を行って良かったと感じた瞬間でした。

今後も未来のまちづくりのために常日頃よりILCに関心を持ち、行政と青年会議所が意識共有をしながら、しっかり行政と連携を図り、より良いまちづくり事業を目指して頂きたいと考えております。

最後にこの事業に参加して頂いた会員の皆様、そ

して江刺青年会議所会員の皆様、ILC推進室にこの場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。

まちづくり委員会 副委員長 野田 公之(野田工業㈱)



11月例会並びにセミナー
ILCと歩む奥州市のこれからについて



胆江青年懇話会主催 事業見学会

キッズワーカーズin奥州

11月13日、水沢地区センターで、小学生5、6年生約200名を対象に自衛隊や警察官、銀行員、菓子職人などの多様な18種類の仕事を疑似体験するイベントが開催されました。主催は、商工会議所青年部キッズワーカーズ担当部会で、会員である千葉俊哉君は、この日統括として活躍していました。どの子供たちも楽しそうに目を輝かせながら体験していました。他団体が行う事業を見学させてもらうことにより、新たな発見、気づきを得ることができ、とても勉強になりました。今後のJC運動に少しでも活かそうと思います。



One Loveタウン2016

11月23日、江刺総合コミュニティーセンターで、小学4年から6年生対象の職業体験イベントが江刺青年会議所主催で行われました。小学生300人が、ものづくりや医療、サービス業などさまざまな職業を体験し、働く楽しさや大変さを感じながら、社会の仕組みを学んでいました。来年度は胆江青年懇話会で主催を考えているようで、水沢JCメンバーも大きく関わることになると思われます。JC以外の他団体と共同で事業を行うことで、更なる成長ができるものと楽しみにしております。



総務広報委員会 委員 小野真紀子(㈱水岩観光タクシー)

2016年度卒業生

入会年度	卒業生	企業名
2004年度	佐藤 仁	(有)サクマ興業
2004年度	伊藤 淳	(有)伊藤住建
2006年度	千田 大輔	千田バッテリー電装
2006年度	高橋 賢	(有)高橋自動車工業
2008年度	千田 將智	(有)千田善商店
2008年度	佐藤 直子	らーめんの石川五右衛門
2010年度	小山 司	(株)プラザ企画 プラザイン水沢
2011年度	福田 光	(有)幸寿司
2012年度	五十嵐 智行	(株)水沢ハウス
2013年度	野田 公之	野田工業(有)
2014年度	菅原 慎一	合同会社千田修設計企画
2015年度	西條 仁也	(有)西條創建

Next event Schedule

〈今後のスケジュール〉

12月 (December)

11日(日)

12月例会並びに第50回卒業式
会場：プラザイン水沢



1月 (January)

11日(水)

1月定時総会並びに新年初顔合わせ
会場：料亭丸松

20日(金) ~ 22日(日)

(公社) 日本青年会議所 京都会議



編集後記

この号が出る頃は忘年会シーズン真っ盛り。アルコールは肝臓に負担をかけるのでたまには休肝日を設けることをお勧めします。どうしても続くときはお酒が飲んだ後に常温のスポーツ飲料を飲んでおくことで二日酔いをある程度軽減することができるそうです。

さて、総務広報委員会の委員長を引き受けてあっという間の1年間、12回の「築く」発刊を何とか駆け抜けることができました。ご協力いただいた多くの皆様に感謝申し上げます。より良い誌面となるよう次年度へバトンを引き継いでいきますので、今後もお愛読の程、宜しくお願い致します。

総務広報委員会 委員長

岩 淵 真幸人

会員募集

水沢青年会議所の仲間に入りませんか？

地域の青年のみなさん！他業種の、それも同年代の人々と幅広く勉強し、一緒に行動し、そして友情の輪を広げてみませんか？そうした事の出来る団体が、青年会議所です。40歳までをどう過ごすか、共に考え活動していきましょう！

修練・奉仕・友情を信条とし、よりよい社会づくりを目指す。

青年会議所は大きな可能性に向けての自己投資です

表紙写真

1年間の事業写真

みなさまのご意見・ご感想をお待ちしております！